

大雪清流 てっぺんだより

JA Higashikawa Public relations magazine Daisetsu Seiryu Teppen Dayori

- 4 適期収穫および適切な乾燥調製を徹底しましょう！
- 6 病虫害や生理障害に注意し、生育後半の栽培管理を確認しましょう！
- 8 ひがしかわライスターミナル竣工式
- 10 コープさっぽろ産地交流会／写真甲子園2025 女性部炊き出し
東川米カップパークゴルフ大会／JAひがしかわ青年部学習会
- 11 秋の交流会in旭川
- 12 来月のカレンダー／家の光よりお知らせ／人間ドック



担い手としての思い 東川町稲作研究会 副会長

おのうえ やすのり
尾上 康紀



vol.625



尾上 康紀

平成21年、東京で板前を離職し実家に就農。令和4年度より東川町稲作研究会理事就任。令和6年度より東川町稲作研究会副会長就任。



Strong spirit of Challenge

担い手としての思い

東川町稲作研究会 副会長

作付品目：水稻35ha

おのうえ やすのり
尾上 康紀

東川町稲作研究会副会長を務める尾上 康紀さんに農家としての思いをお聞きしました。

農業に携わって

私は、小さい頃から家業である農家は継がないつもりでいました。東川町に戻って来ても本腰を入れて農家になろう！という気持ちにはなれず、前職の板前にいつか戻れたら…なんてことも考えていました。

ですが、今ではどっぷりと農家の魅力にとりつかれ、水稻農家をしています（笑）

まだ、父から経営移譲をする前のことですが、種まき後にシルバーを剥がした時の青々と真っすぐに伸びる苗を見た時の「感動」が私を奮い立たせ、生産者としての一步を踏み出した時の気持ちと感動が今でも忘れられません。農家になり15年経ちますが、春先の育苗から始まり、収穫まで丹精込めて育てたお米の稲刈りを行い、その年の出来栄を見る時は今でも緊張します。「毎年、美味しいお米をありがとう」と手紙が届く事もありますが、生産者にすれば消費者からの声が農業を営む一番の励みになります。

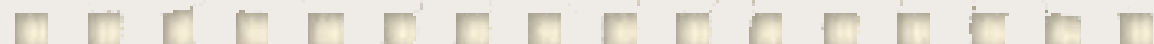
米作りは「今年の米はどうなるか」というのがある程度わかれば、それに応じた対応や対策の施し方もありますが、春先の育苗で苗の稲体は決まってくる部分もあり、一発勝負という所が毎年の緊張感に繋がっています。板前の頃は、目の前のお客様が美味しく食べているか、お客様を楽しませてあげることができたか、その場ですぐに評価がわかり、次に来店する際には対応の仕方などを工夫することがスキルアップに直結していましたが、米作りに関しては農作物が相手であり、トライアンドエラーが来ないということを身に染みて感じています。

昔、「20年農業を営んでいても、それぞれの作業は20回しか経験できない。」という言葉を聞きました。その言葉はとても深いもので、農業を行っていく上で全ての作業が1年に1回しかなく、一つ一つの作業はとても大変だが重みがあり、その集大成が収穫であるというものです。この言葉を胸に刻みながら、私自身も高品質なお米を作るために、前年の反省点を思い出しながら一つ一つの作業を行い、スキルアップを図りながら、毎年の米作りを実践しています。また、私が就農した頃は周囲の尊敬する大先輩方がお米作りに対して叱咤激励してくれた事も今の私の米作りの礎になっています。

東川農業の未来について

今年から稼働する「ひがしかわライスターミナル」は生産者の期待も含め、JA職員も大変な事がたくさんあると思いますが、今こそ東川町、JAひがしかわ、生産者が一致団結する時だと強く感じています。

今までと同じことを行っても変化が生まれることはなく、未来に向けては生産者も大きな意識改革が必要不可欠となります。また、これからの東川農業を考えると、生産者が減少していくなか、足腰の強い産地を目指し、どう発展させていくかが大きな課題になります。JA、東川町との連携は基より、「東川農業」というものを生産者がどのように感じ、どのような想いを持って農業を営むか、今後は同じ方向を見据える生産者が増える事が「未来の東川農業」の発展に繋がると感じています。



③収穫時の注意事項

- (1) 倒伏した圃場は、品質が低下しやすいので別収穫とする
- (2) 品質を高めるため、適正な二段乾燥を実施するとともに的確な玄米調整・網目の選択や色彩選別機の効率的な利用を行う
- (3) コンバインや乾燥機などの機械施設の点検と整備、清掃を行い、水田内のごみや流入物を除去し異種穀粒や異物の混入防止に努める
- (4) 異品種混入を回避するために、品種ごとの収穫・乾燥調製計画を立てる

2. 乾燥調製時の注意事項

適期収穫の他に、乾燥調製も被害粒を出さないための大事な作業です。乾燥調製時の注意事項を確認し、高品質な製品に仕上げてください。

- (1) **胴割粒を防ぐため、急激な乾燥は行わない(毎時乾減率0.8～1.0%)**
※胴割れ粒の発生が懸念される場合、毎時乾減率0.5～0.6%程度に低下させる
- (2) 二段乾燥を行うことにより品質向上、作業の効率化を図る
- (3) 肌ずれを防ぐため、粳摺り作業は穀温が常温に下がってから行う
- (4) 雨などで濡れた粳の場合は3～5時間程度常温通風によって付着水を取り、その後は通常より5℃低い温度で乾燥を行う

3. 次年度に向けての圃場準備を早めに行いましょう

次年度の作付に向け、収穫が終了した圃場から土壌診断へ提出する土壌の採取や稲わらの搬出などを行いましょう。また、稲わらを鋤き込む際は注意点があるため、確認しましょう。

- (1) 稲わらの鋤き込み
鋤き込みは透排水性の良好な水田のみとし、実施する場合は収穫後なるべく早い時期に行いましょう。(春鋤き込みは厳禁) 鋤き込む深さは極浅く(5cm程度)、土と良く混和してください。水田内に稲わらを放置しておくと、水田の乾燥不良や土壌還元(ワキ)の発生原因となり、初期茎数が十分に確保できなくなってしまうです。
- (2) 土壌還元(ワキ)の激しい圃場の改善のために
土壌還元(ワキ)の発生が激しい圃場はケイ酸や鉄が不足している可能性があります。ワキが発生すると根の活力が低下し、初期成育が停滞してしまう恐れがあります。そのため土壌診断を必ず実施し、土壌の調整を行いましょう。

適期収穫および適切な乾燥調整を徹底しましょう！

早い方では先月末から収穫や乾燥調製作業が始まっております。圃場ごとに刈取適期判定を実施し、適期収穫に努めるとともに適切な乾燥調製を行い良品質米出荷を徹底しましょう。



1. 適期収穫を徹底しましょう

①圃場の観察

成熟期に近づくと、粳の黄化は晴天の日で1日当たり3%程度進むため、遅れ穂を除いた1株の穂の90%が黄化した時期に刈取を開始します。日平均積算気温でおよそ950℃と言われています。**収穫適期期間は黄化粳率が90～95%となる約7日間**です。「ななつぼし」は茶米などが発生しやすいため、収穫の適期幅が狭くなりやすいので注意が必要です。

②玄米による判定

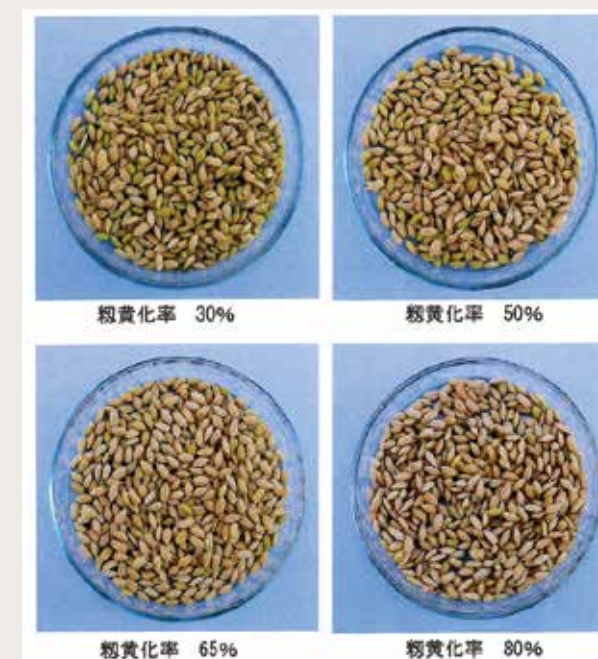
今年度よりライスターミナルが稼働するため、今まで以上に玄米での判定が重要になります。

また、正確な刈取判断するためにも玄米にして判定する手法が最適です。その手法は下記の通りです。

- (1) 圃場の平均的な3～5株を刈り取る
- (2) 脱穀して乾燥させ、粳摺りを行う
- (3) ふるい目で選別し整粒を数える
- (4) **整粒歩合を調査した後、整粒70%となる日**を予想する
※1日当たり3%程度(整粒60%以上は2%程度)の青米が整粒になると仮定)
※判定の結果、刈取適期が10日以上先の場合は再度判定を行う
※着色粒がある場合は早めに収穫を開始する

JAで行っている適期刈取判定に必ず提出してください！

(写真1 粳黄化率) 参考：水稻・大豆・大麦栽培技術指針



品 目	目標温度	
	日 中	夜 間
トマト	20～25℃	12～15℃
ピーマン	23～30℃	15～18℃

◆露地長葱

高温が続くとスリップスの発生に注意が必要となります。発生してからの防除は手遅れとなるため、予防的な防除を実施しましょう。また、土寄せは生育状況に応じて実施し出荷規格通りの軟白部の長さを確保しましょう。降雨が続く場合は、べと病やさび病等の病気の発生が懸念されるため可能な限り早めに収穫を行いましょう。



<べと病>

◆ブロッコリー

気温の低下、多湿により「花蕾腐敗病」や「べと病」の発生が多くなります。また、今後は「黒すす病」の発生にも注意が必要となります。圃場の透排水性を改善するとともに、防除を併せて行いましょう。短期間で圃場全体に広がるため注意が必要です。コナガやヨトウガなどの害虫の発生にも十分注意しましょう。



<黒すす病>

◆軟白みつば

ハウス内での「菌核病」や「べと病」の発生は収量・品質に影響を及ぼすため、9月中旬に圃場での薬剤防除を徹底し、掘り取り時に病原菌を持ち込まないよう注意しましょう。また、アブラムシやハダニなどの発生にも十分注意しましょう。



<アブラムシ>

<防除を行う際の注意事項>

- ・薬剤抵抗性病害虫の発生を防ぐため、RACコードを確認し、異なる系統農薬によるローテーション防除を実施しましょう。
- ・病害虫被害が発生してからの薬剤防除は効果が低くなるため、なるべく予防的な防除を行いましょう。
- ・薬剤防除のみならず、圃場周辺の除草や害虫予察資材の活用など耕種的防除と組み合わせた防除が重要となります。

病害虫や生理障害に注意し、生育後半の栽培管理を確認しましょう！

生育後半に差し掛かり、トマト・ピーマンなどの果菜類は樹勢が弱まり生理障害や病害虫の発生が多くなります。また、露地作物についても気温の低下に伴い病害虫の発生が多発する恐れがあることから早期防除や早期収穫などの対策を講じましょう。

野菜



1. 品目に応じた栽培管理を確認しましょう。

◆トマト

生育後半は樹勢が弱まり「うどんこ病」や「灰かび病」などの病気のほか、「グリーンバック」や「裂果」など生理障害も発生しやすくなるため適正な草勢管理やかん水を行いましょう。気温の低下に伴い、かん水量を減らしましょう。日中の気温は高くなる場合があるため、こまめなハウス内の温度管理を実施しましょう。

<注意すべき生理障害>

障害名	発生要因	対 策
尻腐れ果	カルシウム欠乏（夏季高温時の乾燥）	適正な施肥・水分管理、 石灰資材の施用
グリーンバック果	高温・乾燥、チッソ過多	適正な温度管理・肥培管理
裂 果	果実への強日射、急激な水分変化 樹勢の低下	遮光資材の活用、少量多灌水を行う 適正な温度管理



◆ピーマン

日照時間が短くなり、果色が淡くなりやすいため、果実に光が十分に当たるようにしましょう。気温の低下に伴い、受精不良による「変形果」が発生しやすくなるため、適切な温度管理を行いましょう。また、トマト同様、「灰かび病」の発生条件に適した気温となるため、防除や換気を行い対策しましょう。

<注意すべき生理障害>

障害名	発生要因	対 策
尻腐れ果	高温時の水分不足、カルシウム欠乏	土壌水分の保持、石灰資材の葉面散布
石果 （肥大不良の小果実）	窒素過多、開花前の低温	適正施肥、開花期に適温を保つ
変形果	過度の低温、高温による受精不良	適正な温度管理



牧組合長あいさつ



本日ここに、お忙しい中、またご遠方より、ご来賓各位ならびに多くの関係者皆様のご臨席のもと、令和4年、令和5年度補正 農産物等輸出拡大施設整備事業「ひがしかわライスターミナル」と、その付帯施設「東川米品質管理事務所」の竣工式を挙行できます事にお礼と感謝を申し上げます。

お蔭様をもちまして、大変素晴らしい施設が完成をいたしました。米穀専用施設でのこの規模は、全国でも類を見ない一つの施設で生粳、半乾粳の受入から乾燥・貯蔵・精米加工・出荷までを連続的に一貫通貫で行える「ひがしかわライスターミナル」が完成できたのも、ひとえに本日お集りいただきました皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

念願でありました本施設の建設では、設計管理を行っていただいたホクレン農業協同組合連合会様、建築工事を請け負っていただいた株式会社サタケ様ならびに株式会社石井鉄工様、昨年完成した機能性精米工場の施工では、通常の精米工場にはない環境に配慮した特殊施工を採用し、それら工事を一手にお引き受けいただいた吉宮建設株式会社様、本体の施設工事にあわせ、必要となる土地の造成や舗装・排水施設・緑地工事と、「東川米品質管理事務所」の新築工事を請け負っていただきました株式会社ベスト様をはじめ、多くの工事関係者の皆様、また、東川米関連施設建設委員会や地域住民の皆様方にも長期間わたり多大なるご理解、ご協力をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。

さらに、補助事業の採択に向けて終始ご指導を賜りました衆議院議員東国幹先生、参議院議員長谷川岳先生、参議院議員岩本剛人先生をはじめ、農林水産省・北海道農政事務所様、北海道上川総合振興局の皆様、そして何より建設実現への大きなハードルでありました予算面で絶大なるご理解とご支援を賜りました東川町菊地町長、能登町議会議長をはじめ町議会議員の皆様方には、感謝の念に堪えません。誠にありがとうございました。

この施設の建設構想は、平成30年に具体的な検討、協議が始まり、組合員や青壮年組織と幾度も会合を重ね、将来の東川米・東川農業のあるべき姿を示され、その後の組合総会で建設承認、事業採択までの道筋を立てていただいたのは、当時の組合長榊井会長であります。

当時を振り返りますと、農業、とりわけ米づくりを取り巻く環境は年々厳しさを増しており、農家組合員の減少と高齢化、米消費量の減少と米価下落など、明るい展望が見出しにくい状況下でありました。

しかし一方、海外の日本食ブームと輸出事業開始による販路拡大など、東川米に対する評価は年々高まり、こうした状況の中、組合員やJA職員、系統連合会やコープさっぽろ様をはじめとする道内外の卸各社の皆様と今抱えている課題に正面から向き合い、地元の優れた農産品・東川米をどう守り育てるか、一つの判断を下す真剣な議論を尽くしてこれしました。

このたびの「ひがしかわライスターミナル」完成に懸けた思いとその決断は、まさに大英断でありました。あらためて榊井会長に敬意を表し感謝を申し上げます。

東川町の米づくりは、入植翌年の明治29年にこの北立地区から始まり、今年130年目を迎えました。当時の稲作は、国策による北海道開拓方針として奨励され、本州からこの地に來られた開拓農民は「赤毛米」の試作に成功し、畑作中心だった上川地方でも米づくりを可能とさせました。

しかし、相次ぐ冷害のほか、水害や虫害も加わって大凶作が続き、農民達の生命の危機が迫る中、相互扶助と共存共同を目的に、ライスターミナルが立ったこの場所に、旧北立農協の前身組織であります東川ホクリツ産業組合が大正4年に設立され、この地に誕生して今年でちょうど110年と、米づくり130年同様、記念すべき節目の年を迎えました。

本日の竣工式にあたり、130年、110年とここまでに至る背景を推察した時、未開のこの地で幾多の困難を乗り越え稲作を定着させた先人達に感謝と尊敬の念に堪えません。

これから迎える秋の実りは、この記念すべき令和7年に「ひがしかわライスターミナル」が稼働・受入をし、地元はもとより国内、世界中に東川米が出荷されていきます。

脈々と受け継がれた米づくりに賭ける想いを後世へ引き継ぎ、次の150年、200年と発展し続けるために、私もこの地で生まれた農業者として、先人先達のDNAを次の世代に継承してまいります。

このたび完成した「ひがしかわライスターミナル」「東川米品質管理事務所」が、組合員はもとより町民の「東川米」に対する信頼をより一層高めるとともに、生産者の省力・低コスト化と経営規模拡大、複合化に寄与することを、さらには系統連合会や取引先各社とともに、北海道米のブランド価値の向上や競争力強化に貢献できれば、産地・JAにとってこの上ない喜びであり、皆様のご期待と関係各位の負託に応えるべく役職員一同誠心誠意、努力してまいります。

結びになりますが、皆様には、今後とも変わらずのご指導、ご鞭撻を頂きますよう重ね重ねのお願いと、また、本日ご臨席の皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念を申し上げ、簡単楚辞ではございますが式辞といたします。

本日は誠にありがとうございました。

ひがしかわライスターミナル竣工式

8月5日（火）、ひがしかわライスターミナルの竣工式が開催され、関係者約120名が参加致しました。ライスターミナル建設に係り多くのご支援をいただいた菊地町長（東川町）をはじめ、東衆議院議員や小島所長（農林水産省）、嶋田局長（北海道）からもお祝いのお言葉を頂きました。また、牧組合長よりライスターミナルの施工に係る多くの工事関係者へ感謝状が贈られました。

式典後の祝賀会での鈴木常務（コープさっぽろ）、山本社長（東光食品）の挨拶ではライスターミナルの運用によりさらに東川農業（東川米）の発展が期待できると述べられました。

17時30分からは豊穣祈願大餅まき会も開催され、多くの町民が来場し、大盛況のうちに竣工式を終えました。



ひがしかわライスターミナル竣工式 テープカットの様子
左より東衆議院議員 島田秘書、東光食品(株) 山本社長、上川地区農業協同組合 植崎会長、JA 北海道中央会榊井会長、牧 組合長、東川町菊地町長、東川町能登議長、普及センター大雪支所 内田支所長、コープさっぽろ鈴木常務、大衆産業(株) 赤司部長



ひがしかわライスターミナル内特設会場 豊穣祈願 大餅まき会



東川町菊地町長



ひがしかわライスターミナル竣工式記念写真



キトウシの森きとろん 祝賀会
コープさっぽろ鈴木常務

JA HIGASHIKAWA
Topics

コープさっぽろ産地交流会の開催

7/26(土)、コープさっぽろ産地交流会が町内園場にて開催され38名が参加されました。ブロッコリー収穫体験をし、昼食にはJAひがしかわ女性部が腕を振るい、東川野菜をふんだんに使用したキーマカレーやコロツケ、サラダを振る舞いました。「美味しいカレーを楽しみにしてました!」との声もありあっという間に完売しました。来年も東川農産物の良さを知ってもらい交流会を企画していきます!



写真甲子園2025

JAひがしかわ女性部 昼食炊き出し

7/30(火)～8/2(金)まで開催され、今年で32回目を迎える本大会の昼食をJAひがしかわ女性部が炊き出しを行いました。毎年、1日目は東川ピーマンの3色そば丼・軟白長ねぎスープ、4日目の昼食は豚汁・おにぎり、どの昼食レシピも大人気で参加生徒より「美味しいです!」と声をいただく大人気メニューを振舞いました。



JAひがしかわ 青年部学習会

8月8日(金)に廣田 好彦氏宅のハウス内にて青年部による営農研究活動が行われました。「複合経営」をテーマとして、一年のスケジュールやメリット・デメリットなど部員達も真剣に耳を傾け、廣田さんには部員からたくさんの質問にお答えいただき参考になることがとても多く、今後の営農に活かすことのできる有意義な勉強会となりました。



東川米カップパークゴルフ大会

8月9日(土) JA役職員と各連合会との親睦や健康増進を図ることを目的に「東川米カップパークゴルフ大会」をキトウシパークゴルフ場で開催しました。当日は72名が参加し、2コース18ホールを回りました。パークゴルフ終了後は懇親会を開催し、普段あまり話す機会の少ない方々とも交流を深めることができました。

今後も各関係機関やJA役職員同士のコミュニケーションを大切にし、楽しく活気ある職場づくりに努めてまいります。



実るのは野菜だけじゃない

秋の交流会

in 旭川

農業に携わる人たちと
おしゃべりしたり、
陶芸にチャレンジしたり、
おいしいごはんやお酒を
一緒に楽しみませんか?

スケジュール

9:30 JA上川ビル集合(受付)
JA上川ビル/〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2-5

10:00 行程説明
10:10 参加者1対1フリートーク
12:00 ランチ交流タイム
13:40 陶芸体験(大雪窯)
15:20 フリータイム(JA上川ビル)
余興
17:00 夕食会(JA上川ビル)
18:30 マッチング
18:45 結果発表
19:30 二次会
(自由参加・会費別途)

※イベント中の移動は、すべてジャンボタクシーを使用します

2025年 **11月1日(土)** 10:00～

参加対象(会費)

女性	35～50歳の農家に 関心のある独身の方	1,000円
男性	35～50歳の上川管内 農業従事者で独身の方	5,000円

定員 男女各 **7名**

申込締切 **10月6日(日)**
参加希望者多数の場合は
抽選とさせていただきます
結果を10月10日(金)までに
お知らせいたします

お申込はコチラ▶

※当日つくった陶芸作品の受渡しは後日となります(焼成期間 約90日)
大雪窯にて受渡し(発送ご希望の場合、送料は自己負担となります)

主催 JA グループかみかわ農業後継者対策推進協議会
運営 上川生産連 (Tel0166-24-1003)

2025年 9月の予定

1 月
2 火 北海道神宮神饌田抜穂祭
3 水
4 木
5 金 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
6 土
7 日
8 月
9 火
10 水 スタンドHUCカードポイント5倍
11 木
12 金
13 土
14 日
15 月 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き） 敬老の日
16 火
17 水
18 木
19 金
20 土 スタンドHUCカードポイント5倍
21 日
22 月
23 火 秋分の日
24 水
25 木 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
26 金
27 土
28 日
29 月
30 火
2025年 10月の予定
1 水
2 木
3 金
4 土
5 日 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
6 月

..... 理事会の動き.....

第7回 理事会 日程：令和7年8月12日（火）

【議決事項】

- 議案 1 号 4月末定例監査回答(案)について
 議案 2 号 令和7年東川産米の概算金（保証額）について
 議案 3 号 固定資産の取得について
 議案 4 号 株式併合に伴う保有株式の処分について



お申し込みの際は、JA ひがしかわ 営農企画課 Tel82-2124 まで

早期発見、早期治療のために
人間ドックを受診しましょう！

ご家族、大切な方のために、そして何よりご自身のために受診をおすすめします。

■旭川厚生病院「人間ドック」予約状況

2025年9月							2025年10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
	x	x	x	x	x	x				x	x	x	x
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
x	x	x	x	x	x	△	x	x	x	x	x	x	○
28	29	30					26	27	28	29	30	31	
x	△	x					x	x	x	x			

正組合員（本人・同居家族）准組合員限定

人間ドック検診費用助成

厚生病院での一般受診料金

44,000円が **31,900円**に！

※オプション検査は助成対象外

男性：月曜日・水曜日・金曜日、女性：火曜日・木曜日

予約表の見方：○10名以上の空き △残りわずか ×予約が埋まっています

お申込み順となるためご希望日が埋まっている場合もございます。人間ドックの申し込みや、お問い合わせは営農企画課（Tel82-2124）まで

●葬儀・法要のご用命は…24時間フリーダイヤル

JA事業推進係 0120-82-2125へ